

令和4年度(2022年度)事業報告

認定特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

1. 研究会運営

9/10 オンライン理論研究会「故小原秀雄名誉会長とともにこれからの野生生物保全活動を考える」を開催した。参加登録者 137 名

2. 調査提言

- (1) CITES CoP19 の議題に挙げられたサメ種の附属書II掲載提案の解説をブログや SNS で発信した。また 11/4 に海外の研究者によるオンライン記者会見を開催した。3/8 「ワークショップ：ワシントン条約におけるサメの保全と持続可能な利用」を共催した。
- (2) 「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」のプロジェクト「企業のエシカル通信」に参加し、食品加工企業の生物多様性保全の評価を担当した。
- (3) 日本サステナブル化粧品振興機構のオブザーバーとして永石文明理事がオンライン会議に出席し、助言した。

3. 生息地支援

コンゴ共和国でのゾウによる獣害対策および共存に向けた村づくりを支援した。またゾウ生息地と消費地日本をつなぐ情報発信として活動報告「ンボモ村便り」を会報及びウェブサイトに掲載し、JWCS ラジオ第 18 回（2023 年 1 月配信）で取り上げた。【地球環境日本基金・自然保護助成基金】

4. 普及啓発

- (1) ワイルドライフカレッジを開校した。学生受講登録者前期（1～4 回）68 名 後期（5～8 回）58 名 一般受講登録者 第 1 回 33 名 第 2 回 32 名 第 3 回 36 名 第 4 回 29 名 第 5 回 26 名 第 6 回 24 名 第 7 回 21 名 第 8 回 38 名 フィールドワーク 7 名参加【地球環境基金】
- (2) インターネットラジオ番組「生きもの地球ツアー」第 9～20 回を配信。
- (3) ブログ note にラジオの補足や CITES CoP19 の議案の解説等掲載。
- (4) 国連世界野生生物の日（2023 年 3 月 3 日）に SNS での広報活動を実施。
- (5) 講師派遣を行った。
11/13 Sera Creations 主催 トーク&コンサートに出演
1/16 龍谷大学アジアアフリカプログラム 2022 年度研究フォーラム講演
1/21 一般社団法人日本サステナブルシーフード協会主催 「おさかな小学校」にて講義
- (6) 野生生物の保全に関する国内外の情報を SNS、メールマガジンで発信。

5. 国際会議参画

- (1) CITES 第 19 回締約国会議（11/14-25 パナマ）にスタッフ 2 名が参加し、国際 NGO ネット

ワークと協力して意見表明および情報収集を行った。

- (2) IUCN メンバーとして日本委員会が主催するオンラインイベントに参加。国際経験継承事業としてスタッフ 1 名が生物多様性条約第 15 回締約国会議（12/3-19 カナダ）に参加。

6. 会報発行

年 3 回発行。デジタル版（PDF をメールで送る）の発行を開始した。とくに個人への贈呈は、会員印刷及び発送の負担軽減のためデジタル版に切り替えた。

7. NPO 運営

- (1) 複数代表理事制への移行および事務所移転のため定款を変更した。
- (2) 10 月 1 日付で事務所をシェアオフィスに移転した。
- (3) 会員にアンケートを実施し会員拡大事業の参考とした。

以上